

第2回定例会

(可決した議案など)

- 令和元年度補正予算
本誌4〜5ページで紹介しています。
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
など、合計22件の議案などを可決しました。

委員会の主な活動状況

(6/11〜7/10)

総務委員会

(仮称) 第2期さっぽろ未来創生プランの策定についてまちづくり政策局から、篠路清掃工場跡地利用基本方針について環境局から説明を受け、質疑を行いました。(7/2)

文教委員会

児童虐待による死亡事案について子ども未来局から説明を受け、質疑を行いました。(6/26)

大都市税財政制度・災害対策調査特別委員会

令和2年度国の施策及び予算に関する提案(通称「白本」)について財政局から、令和2年度国家予算等に対する札幌市重点要望事項についてまちづくり政策局から説明を受け、質疑を行いました。(6/13、6/26)

平成30年北海道胆振東部地震における札幌市の検証結果、札幌市避難場所基本計画の見直しについて危機管理対策室から説明を受け、質疑を行いました。(7/3)

第一部・第二部議案審査特別委員会

副委員長の互選、理事制の設置、審査日程などを決定しました。(6/20)

本会議で付託された合計16件の議案などについて審査を行いました。(6/25、6/27、7/1、7/3)

第3回定例会のお知らせ

令和元年第3回定例会は9/17(火)から10/28(月)まで開催され、各会派の代表質問は、9/24(火)から3日間行われる予定です。

■編集 札幌市議会事務局
政策調査課
☎211-3164 FAX218-5143
■市議会ホームページ
www.city.sapporo.jp/gikai

のにぎわいを創出していきます。また、地域が主体となって進めているまちづくりの活動をこれまで以上に力強く支援するとともに、地域の声や民間の活力を積極的に取り入れながら、各種の関連事業を進め、篠路駅周辺地区の魅力向上を図っていきます。



まつらただし 松浦 忠 議員を除名

松浦忠議員は、5月13日の本会議において、地方自治法の規定に基づき臨時議長に就任しましたが、その際、他の議員の発言を認めないなど議事を進行する立場の者としての責務を果たさず、長時間議事が滞りました。

このことにより、議会活動に支障を与えるとともに、市民生活に多大な影響を及ぼす危険性があったとして、11人の議員から懲罰を求める動議が提出され、懲罰特別委員会が設置されました。

委員会は4回開催され、その結果、賛成多数で松浦議員に除名の懲罰を科すべきものと決定されました。

その後6月21日の本会議において、出席議員の4分の3以上の賛成により、地方自治法第134条第1項の規定に基づき松浦議員に除名の懲罰を科すことが可決されました。

議場を見学してみませんか？

議員の解説を聞きながら議場を見学することができます。

市内および札幌近郊の小中学校における総合学習や、町内会の社会見学など、これまで多くの方が議場を見学しています。時間は15分程度です。

ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

※本会議開催中など、事情により見学できない日があります。

里塚霊園隣接地の地盤改良

よしおか ひろこ
吉岡 弘子
日本共産党



札幌市大規模盛土造成地マップによると、市内95カ所の盛土造成地のうち29カ所が清田区となっています。北海道胆振東部地震において、清田区の被害が飛び抜けて多かったことを考えると、地震被害と盛り土の関係性は否定できません。里塚霊園では、川だった場所に盛り土がされており、液状化の可能性が懸念されていることから、既に復旧工事に着手している里塚地区同様、公費による霊園と隣接地の宅地の一体的な地盤改良が喫緊の課題と考えますが、いかがですか。

里塚以外の地区では、流動化が生じている状況にはないことから、一体的な地盤改良は想定していません。現在、里塚霊園の隣接地においては、被災メカニズムの把握などの技術的検討を進めており、検討状況などを地域の方に情報提供していきます。



篠路駅周辺のまちづくり

いしかわ さわ子
市民ネットワーク北海道



JR篠路駅周辺地区においては、土地区画整理事業や鉄道高架事業などの社会基盤整備が進められる中、にぎわいの創出や活力のあるまちづくりに向け、地域と行政がさらに一体となって取り組むべきだと考えますが、いかがですか。

篠路駅周辺地区において土地区画整理事業や鉄道高架事業などを進めるに当たっては、篠路駅東口を中心として、民間事業者による土地の高度利用を促進するなど、公民連携により駅前

子どもの権利の普及・浸透

おがしま かおる
大嶋 薫
民主市民連合



札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例(子どもの権利条例)の施行から10年目を迎えました。市民の間における子どもの権利の普及・浸透はまだ十分とは言えません。これまでの取り組みやその結果を踏まえて、今後、どのように子どもの権利の普及・浸透を図っていくつもりですか。

子どもの権利の認知度は上昇傾向にあります。認知度が比較的低い乳幼児の保護者には、子どもの権利を尊重する意識の向上を図っていくため、妊娠期からのさまざまな機会を捉えた啓発活動を進めるなど、さらなる取り組みの工夫が必要と考えています。また、本年度は、「第3次子どもの権利に関する推進計画」を策定することとしており、子どもの年齢や生活の状況に応じた普及・啓発の取り組みと併せて、子どもの権利保障に向けた実効性のある施策を展開し、条例理念のより一層の普及に努めていきます。



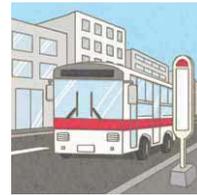
バスネットワークの確保

ふくだ こうたろう
福田 浩太郎
公明党



帰宅時間が遅くなるとバスの便がない、そもそもバスの便数が少ないなど、路線バスの利便性には地域間で大きな差があります。こうした中、企業や地域においては、買い物客に対する無料送迎バスの運行など、さまざまな取り組みが行われています。本市においても、バスネットワークの確保に向けて積極的に取り組んでいくべきだと考えますが、いかがですか。

路線バスについては、路線廃止などにより市民生活に大きな影響が出ないよう、赤字路線に対する補助などを実施し、路線の維持に努めているところです。また、乗務員不足などの課題に対応するため、事前予約により運行するデマンドバスの導入などを検討していく考えであり、今後バス事業者と連携を図りながら、バスネットワークの維持に努めていきます。



市議会の動き

6月13日に招集された第2回定例会の中から、6月19日、20日の代表質問の主な内容や、可決した議案などについてお知らせします。

なお、代表質問など、会議や特別委員会の模様はインターネットで中継しています。傍聴に来られない方も生中継でご覧いただけるほか、会議終了からおおむね5日後には、録画映像も公開しています。市議会ホームページからご覧ください。

次期中期実施計画への エスディーエス SDG sの考え方の反映

きたむら こういちろう
北村 光一郎
自由民主党



市長の選挙公約では、国連が定めた持続可能な開発目標であるSDG sの視点をうけて本市の施策全体を捉え直し、持続可能なまちづくりを推進するとしています。将来を見据えた継続性のある政策の実行という観点からも、SDG sの考え方が注目されていますが、次期中期実施計画にはどのようにSDG sの考え方を反映していくつもりですか。

SDG sは、国際社会全体の目標として、持続可能で多様性のある社会の実現を目指すものであり、本市としても、この理念に沿ったまちづくりが重要であると認識しています。これから策定する次期中期実施計画においては、中長期的な観点から、経済、社会、環境などのさまざまな課題に対して一体的に取り組む視点に立って事業の構築を進めていくとともに、まちづくりの方向性がSDG sと合致していることを分かりやすく示していきます。

